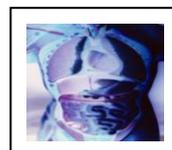


まちのくすりやさん 第32号

今回のおはなし

「潰瘍性大腸炎」
ザ・タバコ
Q&A



潰瘍性大腸炎

腹痛や下痢を繰り返す

厚生労働省指定の特定疾患に認定されています。男女による差はありません。大腸がただれて1日に何回も腹痛や下痢、下血を繰り返します。若い世代を中心に治療を受ける患者数は年々増えており、2008年度に10万人を突破しました。原因のはっきりしない難病ですが、最近の研究で自己免疫疾患の可能性が高く、関連遺伝子もいくつか明らかになりつつあります。薬物治療の成績も向上しつつあります。

炎症は、異物が体内に侵入すると、白血球などが攻撃する免疫の過剰反応によって引き起こされます。動物性たんぱく質や脂肪分の多い食事など欧米スタイルの食生活や、不規則な生活環境、遺伝的要因などが指摘されています。予防は、過剰な暴飲暴食を避け、規則正しい生活を送るよう心がけることです。

小腸にも発症するクローン病や過敏性腸症候群など似た症状の疾患もいくつかあります。

	潰瘍性大腸炎	クローン病	過敏性腸症候群
症状	腹痛と下痢、下血。発熱、全身倦怠感	腹痛と下痢、下血。発熱、全身倦怠感	腹痛と下痢。便秘と下痢を繰り返すことも。おなかにガスがたまる。
原因	免疫の過剰反応により大腸がただれる。	免疫の過剰反応により大腸もしくは小腸がただれる。	ストレスによる自律神経の乱れなどで発生
治療・改善方法	薬剤投与による炎症反応、免疫調整。手術も。	薬剤投与による炎症反応、免疫調整。手術も。	精神神経疾患との合併もあり、ストレス軽減など心療内科的な治療も。

原因不明の腹痛や下痢が続くようなら、早めに専門医の診断を受けるようにして下さい。

ガ・タバコ

フィルターたばこでも、肺がん を起こすリスクは変わらない！

健康被害を少しでも減らそうというフィルター付きのたばこが数十年前から普及し、肺がんの一種「扁平（へんぺい）上皮がん」は減ったものの、同じ肺がんの「腺がん」が増加し、肺がん全体が減少しない一因になっていることが、わかりました。

扁平上皮がんの原因物質は、粒子が比較的大きく、フィルターで除去されるとみられるが、腺がんの原因物質は粒子が小さく、すり抜けて肺に付着するものがあると考えられています。



Q:「乳がんが気になります。自分で確認したいのですが、教えてください。」

A: 鏡の前で左右の胸を観察。

手を組んで、上に体を伸ばしたり、腰に手を当てながら、乳首のむきが同じか、皮膚にくぼみがないかなどを見る。



手指をそろえて乳房にあてて、くまなく滑らかに動かす。右の乳房を調べるときは左手で。左の乳房を調べるときは、右手で。

(強さは、大胸筋を押したときにやや気持ちいいくらい)



女性の20人に1人がかかるといわれるほど身近な乳がん。気になるようでしたら、早めに受診して下さい。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiwase@urayaku.jp